

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 16 日(2022.9.16)

【公開番号】特開 2021-45386(P2021-45386A)

【公開日】令和 3 年 3 月 25 日(2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報 2021-015

【出願番号】特願 2019-170406(P2019-170406)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 8 日(2022.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 基板と、前記第 1 基板を覆う樹脂性の被覆部材と、第 2 基板と、を備えた遊技機であって、

前記被覆部材は、放熱機能を有する第 1 貫通孔と、第 2 貫通孔と、を有し、

前記被覆部材における前記第 1 基板側の面を内面とし、前記第 1 基板側とは反対側の面を外面とすると、

前記第 1 貫通孔は、内面側の孔の径が外面側の孔の径より大きく、

前記第 2 貫通孔は、外面側の孔の径が内面側の孔の径より大きく、

前記第 2 基板は、所定の調整スイッチを有し、

30

前記調整スイッチは、ハウジングと、前記ハウジングに回転可能に支持されたつまみとを有し、

前記ハウジングは、前記つまみ側の面に所定の表示を有し、

前記つまみは、切り欠き部が形成された鏝部を有し、

前記所定の表示は、前記鏝部に覆われる位置に形成されており、

前記ハウジングにおける前記所定の表示が設けられている面と前記鏝部の底面との間には、1mm未満の所定の隙間が形成されるようになっている、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、

第 1 基板と、前記第 1 基板を覆う樹脂性の被覆部材と、第 2 基板と、を備えた遊技機であって(例えば、段落[0074]、[0075])、

前記被覆部材は、放熱機能を有する第 1 貫通孔(例えば、小径貫通孔 222)と、第 2 貫通孔(例えば、大径貫通孔 223)と、を有し(例えば、段落[0075])、

前記被覆部材における前記第 1 基板側の面を内面とし、前記第 1 基板側とは反対側の面を外面とすると、

50

前記第 1 貫通孔は、内面側の孔の径が外面側の孔の径より大きく、

前記第 2 貫通孔は、外面側の孔の径が内面側の孔の径より大きく（例えば、段落 [0 0 7 6]）、

前記第 2 基板は、所定の調整スイッチ（例えば、音量調整スイッチ 3 0 0）を有し（例えば、段落 [0 0 7 8]）、

前記調整スイッチは、ハウジング（例えば、ハウジング 3 1 0）と、前記ハウジングに回転可能に支持されたつまみ（例えば、つまみ 3 3 0）と、を有し（例えば、段落 [0 0 8 0]）、

前記ハウジングは、前記つまみ側の面に所定の表示（例えば、レベル表示部 3 1 2）を有し（例えば、段落 [0 0 8 1]）、

前記つまみは、切り欠き部（例えば、切り欠き部 3 3 1 a）が形成された鏝部（例えば、鏝部 3 3 1）を有し（例えば、段落 [0 0 8 3]）、

前記所定の表示は、前記鏝部に覆われる位置に形成されており（例えば、段落 [0 1 0 1]）、

前記ハウジングにおける前記所定の表示が設けられている面と前記鏝部の底面との間には、1 mm 未満の所定の隙間が形成されるようになっている（例えば、段落 [0 0 8 4]）。

このような構成によれば、品質が向上した遊技機を提供できる。

また、本発明の遊技機は、

基板と、前記基板に配置された所定の調整スイッチと、前記基板を覆う基板ケースと、
を備えた遊技機であって、

前記調整スイッチは、前記基板に固定された平面視四角形状のハウジングと、前記ハウジングに回転可能に支持されたつまみとを備え、

前記基板ケースにおける前記つまみに対応する位置には、前記つまみを挿通させるための平面視円形状の開口が設けられており、

前記ハウジングの対角線の長さが、前記開口の直径以上となっていることを特徴とする

。

10

20

30

40

50